



ひたちなか健歩の会 会報

ひたちなか市ウォーキング協会

発行者: 佐藤 義和
編集責任者: 河合 視己人

2月の例会便り

2月15日(土)開催の第228回例会「武田氏のルーツを巡るウォーク」は、会員17名、一般23名の計40名の参加者でした。当日は、2日前の土埃が吹き荒れた強風の日と比べると、とても穏やかな冬晴れの、絶好のウォーク日和でした。

いつもとは反対側の勝田駅西口が集合場所で、出発式・ラジオ体操の後、武田氏館を目指し、過去の例会では東側を歩くことがほとんどだったため、新鮮な感じがする街並みの中を歩きます。武田氏館に到着後、管理者の方から説明をいただき、館内の見学(無料)もできました。続いて、すぐ隣にある^{ぬまお}湫尾神社に立ち寄り、市指定天然記念物の樹齢400年以上のスタジイを見ました。その後、実際に義清が居住していた館跡地にて説明を聞き、往時を偲ぶことができました。

その後、遠くに冠雪した日光連山を見渡せる田園風景の中を進み、那珂川沿いの和菓子工場の一角にあるダンゴ直売「ぺ」に到着し、健歩の会からふるまわれたみたらしダンゴをおいしくいただき、皆さんの笑顔が見られました。

田んぼの中の道に戻り、光明寺にて一休みしました。ここにも樹高13mの^{けやき}欒がありました。この後、勝田駅西口に戻り、解散式で、無事終了できました。

甲斐武田氏発祥の地に立つ 湫尾神社・武田氏館について

「武田氏のルーツを巡るウォーク」の中心地は、ひたちなか市武田地区です。古くは武田郷という荘園で、平安時代末期(12世紀初め頃)、源義家の弟の義光が常陸国への進出を図り、長男^{よしなり}義業を久慈郡佐竹郷(現在の常陸太田市稲木町周辺)に、三男義清を都賀郡武田郷に土着させました。ここに佐竹氏、武田氏が誕生しました。この後、義清は朝廷から甲斐国に^{はいる}配流を命ぜられ、甲斐武田氏の祖となり、名称武田信玄は義清から数えて十八代目にあたります。

この武田地区に立ち、「武田大神宮」としてあがめられている湫尾神社は、創建時期は不明ながらも江戸時代初期の1648(慶安元)年に再建されたとの記録が残っており、2013(平成25)年9月に火事で全焼してしまいました。この焼失の7年前に大規模改修したばかりだったそうで、市内唯一のかやぶき屋根の建物でした。3年をかけて屋根を銅板に変えて再建したのが現在の湫尾神社です。

そして、この湫尾神社に隣接するのが、平安末期から鎌倉時代にかけての武士の館を再現した「武田氏館」です。館内には甲斐源氏から武田氏へと継承した「楯無鎧」(国宝・複製)や、甲冑・刀・武田遺跡出土品などが展示されています。

義清とその子清光が住んだ館は、那珂川を見下ろす武田台地の突端部にあったそうです。



<湫尾神社にて>

<文芸コーナー> ~多くの皆様のご投稿をお待ちしています~

- <川柳> ・病院へ着いた途端に病人に (K.S.)
- <川柳> ・脳トレで左手に箸豆つまむ (T.K.)
- <短歌> ・お迎えはいつか必ず来るけれど歩き続ける動けるうちは (MK.)



<紅梅>

第 228 回例会のスナップ



<出発式・ラジオ体操中>



<武田氏館で一休み>



<武田氏館の説明を聞く>



<湫尾神社鳥居と紅梅>



<湫尾神社>



<市指定天然記念物・
スダジイ>



<田園風景の中を歩く>



<ダンゴ直売 ペ 1>



<ダンゴ直売 ペ 2>



<光明寺前の櫓>



<光明寺>

事務局からのお知らせ

1. JWA・IWA・HWA(日本・茨城県・ひたちなか市各スポーツ協会)関連情報

(1) IWA 関連情報

①スキルアップ研修会「暮らしを守る自主防災」 2/6(木) 参加報告

土浦の生涯学習センターで開催され、本会からは4名が参加しました。平成19年10月1日～令和6年1月末までに緊急地震速報は全国で294回、茨城では108回発令されたそうです。茨城が意外に多くて驚きました。もし地震が起きたときは玄関に逃げ、ドアを開け、閉まらないようにする、避難所の場所確認のために徒歩で行ってみる、避難袋は時期によって衣類などは入れるものが違ってくるので確認した方がよい、などの講話でした。自助、共助、公助と言われますが、「自分の身は自分で守る」「避難するかしないかはあなたの判断です」と講師の話でした。早期に自分で判断することが大事ですね。(鹿志村)

②IWAの「正会員」から「賛助会員」への移行について

本会は、IWAの「正会員」ですが、会員、役員の高齢化及び健康上の理由によりIWAの役員やIWA主催大会にスタッフ等を派遣することが困難になってきました。本会の役員会で検討した結果、このままでは本会の運営に支障が出てくるという結論になり、IWAの役員や大会スタッフ派遣等が必要ない「賛助会員」に移行することを決定しました。その時期は本年4月ですが、会員の皆様にはできるだけ影響がないよう、役員一同本会の運営に一層精進いたしますので、ご理解のほどどうぞよろしくお願いいたします。(佐藤)

(2) HWA 関連情報

①ひたちなか市市民活動団体交流会 まちづくりcafé 2/15(土) 参加報告

那珂湊コミュニティーセンターで那珂湊地区中心の参加者38名(本会から5名参加)で開催され、「地域みんなですすめるまちづくり」について淑徳大学 矢尾板俊平教授の講話と交流会がありました。どのような企画でまちづくりができるか、等について多くの提案・発表があった中で、ウォーキングの言葉がたくさん出されました。第2回目の話し合いは3月15日に行われます。本会の会報とウォーキングの案内チラシを持参して参加したいと思います。(菅原)

2. 事務局関係情報

(1) 総会のご案内

- ・日時 4月19日(土) 午前9時30分～
- ・場所 ひたちなか市ふぁみりこらぼ 詳細は同封のご案内を参照ください。

定例会等のご案内

【コロナの基本的感染対策は、状況に応じて各自の責任で継続をお願いします】

第229回 日立市_日立の歴史と桜 ウォーク

1. 期 日 : 2025(令和7)年3月23日(日)
2. 距離・認定 : 8km/団体歩行・ヘルスロードNo.該当なし?
3. 集 合 : 日立駅中央口 9:00
4. コー ス : 日立駅中央口→市役所→武道館(旧共楽館)→仲町小学校→神峰公園
5. 解 散 : 神峰公園(頂上駐車場) 12時30分頃
6. そ の 他 : 昼食持参



第230回 笠間市_つつじ公園・笠間城跡を訪ねて ウォーク(計画中)

1. 期 日 : 2025(令和7)年4月26日(土)
2. 距離・認定 : 11km/団体歩行・ヘルスロードNo.251
3. 集 合 : 笠間駅 9:20
4. そ の 他 : 詳細は次号



例会ウォークの問合せ先等

【問合せ先】事務局 菅原宛 TEL/FAX 029-274-7016

【持ち物】飲み物、帽子、手袋、ザック、雨具、マスク、健康保険証など
歩きやすい服装で



<健歩の会HP・URL>

JWA・IWA・近隣他団体からの情報

近隣の他団体などの行事・大会を紹介します。参加時には、事前に下欄の各連絡先に連絡し、参加の可否等を確認し、マスク着用などを原則としてください。

期 日	行事名・主催団体	集 合	距離・認定など	見どころなど
3/1 (土)	観梅ウォーク(大心苑)	森林公園	6km	大心苑に残る梅林を訪ねる
	高萩 W	9:00		
3/1 (土)	観梅ウォーク	さくら東公園	9km HR001,176 道紀行 108019	偕楽園の梅の鑑賞がメイン
	IWA	9:10		
3/2 (日)	水府地区の梅花観察ウォーク	水府支所	8km	山田川を挟んだ歴史と文化・自然に恵まれたコース
	太田 W	9:00		
3/8 (土)	第13回水戸観梅ウォーク	さくら東公園	8km	弘道館や偕楽園の梅を愛でる
	水戸歩	8:30		
3/13 (木)	静峰公園でウォークを楽しもう	静峰公園	6km	静峰ふるさと公園内を楽しむウォーク
	太田 W	9:00		
3/29 (土)	東海～大神宮ウォーク	駅東第2公園	11km	虚空蔵尊・大神宮参拝と原子力科学館の見学
	水戸歩	8:40		
4/5 (土)	宍戸の桜と道の駅かさま	宍戸駅	8km	詳細次号
	水戸歩	-		
4/5 (土)	さくら宇宙公園ウォーク	文化会館	7km HR304	詳細次号
	高萩 W	9:00		
4/9 (水)	桜ウォーク(県庁ランチ W)	水戸駅南口	6・12km	詳細次号
	太田 W	-		

<各行事に関する連絡先>

団体名	会長・団体代表	電話
高萩ウォーキングクラブ(高萩 W)	増田 洋 masuda.takahagi@gmail.com	080-9351-0964
常陸太田ウォーキングクラブ(太田 W)	富田 里美 tavitaviwalk3103@outlook.com	080-8041-5820
水戸歩く会(水戸歩)	朝川 憲 higurasi@ozzio.jp	090-2913-0068
茨城県ウォーキング協会(IWA)	渡辺 千春 qq4t344d@jewel.ocn.ne.jp	090-5333-5843

注) IWA の HP (<https://ibaraki-walking.jp/iwa/>) で「IWA ニュース」を参照すれば、開催中止の有無等の最新情報を見ることができる場合もあります。

<編集後記>

編集 河合

2月末になって、厳しい寒さもようやく弛んできて、一気に4月並みの気温が数日間続くとこの予報が発表されていました。こうして、寒暖を繰り返して本格的な春がやってくるのですね。暖かくなることは多くの人たちが望むことと思いますが、一方で花粉が大量に飛散する時期になるということで、花粉症でつらい思いをしている人たちにとっては手放しで喜べない状況かもしれません。また、大量の積雪のあった地域では雪崩などの危険も高まります。まさに「あちらを立てればこちらが立たず」に通ずるようなことに思えます。何ごとも、『表があれば裏がある』で、どちらか一方にだけ偏り過ぎないように、その場面に応じた最適な対処となるよう臨機応変に両者のバランスをとっていくことがとても大事なことのように思えます。